

# 本宮いさむ

No.3

発行  
令和2年  
3月10日

## 県政レポート

事務所 〒799-1527 今治市長沢甲 1045 番地 6 TEL0898-47-1393 FAX0898-47-1693

### 防衛議連の取り組み

私は、愛媛県議会防衛議員連盟の会長を務めています。防衛議員連盟の目的は、自衛隊との交流を通じて信頼関係の強化を図り、自衛隊活動の理解と協力を深めています。

近年、災害が多発した本県では、自衛隊の皆さんによる災害復旧など、多大なお世話をいただきました。特に、近い将来に発生するといわれる南海トラフ地震における応急対策活動も必要となります。

また、国土を保全するための不可欠な存在であることを踏まえ、県土や県民の皆さんの命と生活を守るために、国土への脅威の現状と真の防衛についても学んでいます。サイバー攻撃や電磁波などの新しい攻撃形態に加え、北朝鮮のミサイル開発やオリンピックでのテロ対策など、私たちの生命と生活の安全を守流ために、自衛隊の皆さんは献身的に活動されています。

私たちは、こうした理解を深め、研修会や講演会、現地視察などを実施するとともに、関係機関や団体などとの交流、協力提携を行なっています。

### 他国からの日本への攻撃

グレーゾーンの事態増加・長期化

ロシアの活動の活発化

北朝鮮による軍事的挑発

北朝鮮による核・ミサイル開発

中国による東シナ海での軍活動の活発化

中国の軍事力の急速な強化

中国軍による尖閣諸島への接近

中国と台湾の軍事バランスの変化

中国軍による高頻度の太平洋進出

中国による南シナ海での現状変化・既成事実化

### 日本の安全について考えましょう

ふるさとへの防衛・安全を考えます！

愛媛県議会防衛議員連盟会長として

### 国の防衛

我が国の平和と独立を守り、  
国の安全を保つため、  
侵略に対し我が国を防衛します。

### 災害派遣

新たな脅威や  
大規模な自然災害など、  
多様な事態に対応します。

### 国際協力

国際平和協力業務や  
国際緊急援助活動などの  
国際平和協力活動を  
国際社会とともに進めます。

### 自衛隊

### 自衛隊の役割

自衛隊は、日本の平和と独立を守り、国の安全を保つために国民と領土を防衛するための組織です。その歴史は古く、第二次世界大戦後の1954年に設立されました。現在は全国におよそ260か所もの勤務地があり、23万人もの自衛官が所属する巨大な組織です。

自衛隊の活動には、日本の領空や領海への進入を防ぐ「**防衛活動**」、地震や台風などの大規模災害が発生した際に、警察や消防などと協力しての「**緊急救助活動**」、海外の紛争地域で、その地域の平和を維持するための活動をする「**国際平和協力活動**」などがあります。

「**防衛活動**」は「**日本を他国から守ること**」です。現在、日本はどここの国とも戦争をしていませんが、他国から侵略される可能性もあります。万が一、日本の領海や領土に攻め込まれたときに国民の安全を守るよう、日々訓練を重ねています。

「**緊急救助活動**」は、「**災害から人々を守り、救うこと**」です。地震や大雨などの天災が起きたとき、真っ先に被災地に乗り込んで救援物資を届けたり、被災者を救助したりします。

「**国際平和協力活動**」は、「**国際社会の平和や安定に貢献すること**」です。難民の救援活動に参加したり、医療技術の発達していない国でケガや病気の治療を行ったりして、他国の国民が安定した暮らしができるための支援活動も行っています。





令和2年  
1月25日

## 四国県議会防衛議員連盟

午後4時30分から徳島市内のホテルにおいて四国県議会防衛議員連盟の集いが開かれました。

今年の6月までに四国防衛議員連盟(仮称)を設立すること、設立総会を香川県で開くことなどが、議事会で決まりました。講演会では元陸上幕僚長・岩田清文氏が「国際環境の変化と我が国の防衛・防災について」というお話をされました。

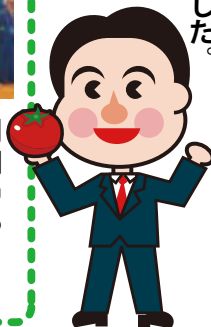


令和2年  
2月1日



この日、自衛隊松山駐屯地体育館で「令和2年銃剣道連盟体験教室」が開催されました。私も愛媛県銃剣道連盟の会長をつとめているので、地域の小学生・中学生とともに参加しました。自衛隊は、地域の社会や人々と相互の信頼をより一層深めていくために、さまざまな活動を行なっています。

花粉症の季節になりました。ウイルスにも備え、帰宅時の手洗いやうがいなどを丁寧に行ってください。



令和2年  
2月  
3~5日

## 九州の自衛隊基地を視察してきました



2月3日から5日まで、愛媛県議会防衛議員連盟の会長として、福岡から鹿児島までの視察研修に参加。まさに九州縦断の研修となりました。

3日は、航空自衛隊西部航空警戒管制団・春日基地と陸上自衛隊第4師団・福岡駐屯地へ向かいました。この基地では、有事に備えて航空機の緊急発進が行われます。平成30年度では、自衛隊全体の緊急発進は実に999回で、前年に比べると95回も増えています。これらの対象国の割合は中国が64%、ロシアが34%となっていて、春日基地でもほぼ毎日の緊急発進があるそうです。この基地に勤務する人たちのうち、一昨年の西日本豪雨の際、宇和島市支援に訪れてくれた方もいらっしゃいました。

4日は、海上自衛隊第2護衛隊群・佐世保基地と陸上自衛隊水陸機動団・相浦駐屯地を訪れました。また、ここでは、司馬遼太郎の『坂の上の雲』に登場する我が故郷の偉人・秋山真之中将の展示もありました。

5日に視察した海上自衛隊第一航空群・鹿屋航空基地の資料館では、特攻に殉じた方々の写真が掲げられています。全2526名のうち、愛媛出身者は63名です。国を守るために、若い命を散らさなければならなかった方たちのことを考えると、私たちが防衛のあり方、平和を貫くための方策について、深く考えなければならないと感じました。

自衛隊の皆さんが献身的な活動を行なっているにもかかわらず、自衛隊の存在意義や防衛に関する議論はなかなか進みません。国土や人々を守るということは日々の積み重ねであり、事件が起こってからでは遅いということは、自衛隊の皆さんの被災地での活動にあらわれています。

平和は、さまざまな国と一緒に考えて、国土の安全と人々の命を守っていかねばなりません。突然、他国が攻めてきた時に、私たちはどうしなければいけないかを、もう一度改めて考える必要があると思います。

国防とは何かを考えさせてくれる、とても有意義な視察となりました。



▲ある有名美人女優のお兄さんと一緒に撮影しました。

